

会計教育100周年 会計学科50周年

専修大学は1917年 育を始め、1968年に計理科を設置し会計教

育を始め、1968年に計理科を設置し会計教

育を始め、1968年に計理科を設置し会計教

伝統と新時代への対応

渡辺達朗商学部長

商学部は、会計教育100周年・会計学科50周年を迎えました。また、2020年には生田キャンパスから商学部発祥の地である神田キャンパスへの施設移転を予定しています。この機会に「二ユース専修」において、商学部の魅力を会計教育の力で高め、実践的な教育力を高めることに努めます。

「財務会計の理論と現代企業会計の研究をテーマに学ぶ国田清志」

会計教育100周年・会計学科50周年の歩み

1905 (明治38) 年:	商科設置。商学教育始まる
1917 (大正6) 年:	専門部に計理科新設。「計理の専修」の名が高まる
1928 (昭和3) 年:	専門部に「商業科」新設(1932年、商科と改称)
1949 (昭和24) 年:	学制改革により商業学科、経済学科からなる「商経学部」発足 : 「会計学研究所」設置
1961 (昭和36) 年:	「経営学研究所」設置
1962 (昭和37) 年:	経営学部(経営学科)設置
1965 (昭和40) 年:	商学部(一部商業学科・二部商業学科)創立。実学重視の商学教育がさらに発展 : 「商学研究所」設置
1968 (昭和43) 年:	商学部に「会計学科」設置。商学と会計学の学部教育二本柱が整う
1975 (昭和50) 年:	大学院商学研究科(商学専攻)および経営学研究科(経営学専攻)修士課程設置
1977 (昭和52) 年:	大学院商学研究科(商学専攻)および経営学研究科(経営学専攻)博士課程設置
2000 (平成12) 年:	商学部に専門科目のセメスター制導入
2006 (平成18) 年:	商業学科を「マーケティング学科」と改称。会計学科に四つの履修モデル導入
2010 (平成22) 年:	大学院商学研究科に会計学専攻修士課程・博士課程設置
2014 (平成26) 年:	全学部で「新たな学士課程教育」始まる
2015 (平成27) 年:	商学部創立50周年・商学教育110年
2017 (平成29) 年:	会計教育100周年
2018 (平成30) 年:	会計学科50周年



「財務会計の理論と現代企業会計の研究をテーマに学ぶ国田清志」

「試験突破は父も祖父も喜んでくれました。諦めないで続けてよかった」と笑顔で話すのは、今年度公認会計士試験に合格した桑澤祥平さん(商4)。父・喜仁さん(平元経済)、祖父・實さん(昭35商経)とも本

入、経営学部では会計入門の必修化による指導など充実したカリキュラムが整備されている。会計教育100周年・会計学科50周年を迎え新たな一歩を踏み出すに当たり、会計教育・会計学科の歩みや今後展開する記念事業を紹介する。

把握しながら実践的な戦略立案を検討するなかで、会計的な裏付けを考慮することの重要性という現実的課題を学ぶことで、多くの卒業生が社会に自信をもって飛び出しています。私たちは、この機会に商学部のミッションを今一度確認しながら、次代を担う学生たちを全力で育成していく決意をしております。変わらぬご支援をお願い申し上げます。

「お問い合せ」
▼使途・趣旨 専修大学 会計教育100周年・会計学科50周年記念事業実行委員会
E-mail: kaikei@shu.ac.jp
FAX: 03-3265-5309

「数字に強いつもりだったので、なんとかなるんじゃないか」という軽い気持ちでした。公認会計士は企業の会計に携わる資格で、業務は多岐にわたる会計のフロアであること、資格試験は2段階(短答式、論文式)で高度な専門知識が求められる難関であることなど、仕事や試験の内容についてはあとから知った。エクステンションセンターの会計士講座を受講し、現役で資格試験突破を目指し勉強を始めた。提携校である大原学園での上級プログラムを受講できる奨励生に選ばれた。それでも「受験勉強はイバラの道でした」と振り返る。短答式試験では2度不合格となった。大

会計学コンペで入賞 伊藤ゼミ・古川原さん



賞状と盾を持つ古川原さん。今回は第1回を上回る13大学51チーム、230人が出場した。本学からは経営、商学部の3ゼミ5チームが発表した。古川原さんは「伊藤ゼミCチーム」として出場し、「企業の短期志向経営と中期計画」をテーマに発表。新聞記事の掲載頻度が市況にどのように影響されるかを報告した。ビール会社を例にして経済専門紙の10年間の掲載状況を調

「故郷の家族に支えられた」

公認会計士試験現役合格 桑澤さん

祖父・父もOBの専大一家

「試験突破は父も祖父も喜んでくれました。諦めないで続けてよかった」と笑顔で話すのは、今年度公認会計士試験に合格した桑澤祥平さん(商4)。父・喜仁さん(平元経済)、祖父・實さん(昭35商経)とも本

学卒の専大一家。不断の挑戦は、諏訪清陵高を卒業し大学生活を始めようとした時に、地元の信用金庫勤務の喜仁さんに勧められたことから始まった。公認会計士への

「数字に強いつもりだったので、なんとかなるんじゃないか」という軽い気持ちでした。公認会計士は企業の会計に携わる資格で、業務は多岐にわたる会計のフロアであること、資格試験は2段階(短答式、論文式)で高度な専門知識が求められる難関であることなど、仕事や試験の内容についてはあとから知った。エクステンションセンターの会計士講座を受講し、現役で資格試験突破を目指し勉強を始めた。提携校である大原学園での上級プログラムを受講できる奨励生に選ばれた。それでも「受験勉強はイバラの道でした」と振り返る。短答式試験では2度不合格となった。大

公認会計士試験合格者

30人全国9位に

2017年度公認会計士試験で1月16日現在、新たに卒業生4人の合格が判明した。本学関係の合格者は在学学生19人、卒業生11人の合計30人となる。新たな判明した合格者は次の通り。

▽大出真也さん(平25商)・神奈川県大和南高)▽千葉真司さん(平25商)・埼玉県新座高)▽谷康一郎さん(平17経営・東京都駒場高)、ほか一人。



祥平さん(後列右)と桑澤家の皆さん。前列左から父・喜仁さん、祖父・實さん、後列左は弟・尚暉さん

「数字に強いつもりだったので、なんとかなるんじゃないか」という軽い気持ちでした。公認会計士は企業の会計に携わる資格で、業務は多岐にわたる会計のフロアであること、資格試験は2段階(短答式、論文式)で高度な専門知識が求められる難関であることなど、仕事や試験の内容についてはあとから知った。エクステンションセンターの会計士講座を受講し、現役で資格試験突破を目指し勉強を始めた。提携校である大原学園での上級プログラムを受講できる奨励生に選ばれた。それでも「受験勉強はイバラの道でした」と振り返る。短答式試験では2度不合格となった。大

「数字に強いつもりだったので、なんとかなるんじゃないか」という軽い気持ちでした。公認会計士は企業の会計に携わる資格で、業務は多岐にわたる会計のフロアであること、資格試験は2段階(短答式、論文式)で高度な専門知識が求められる難関であることなど、仕事や試験の内容についてはあとから知った。エクステンションセンターの会計士講座を受講し、現役で資格試験突破を目指し勉強を始めた。提携校である大原学園での上級プログラムを受講できる奨励生に選ばれた。それでも「受験勉強はイバラの道でした」と振り返る。短答式試験では2度不合格となった。大